

10本スポークのWORK EMOTION ZR10 For IMPORTもリリース!



←ワークエモーション誕生20周年を記念して発売されたシリーズ初の10本スポーク。スーパーGTで使用されている鍛造1ピースから各部形状をフィードバックした強くて軽い本格派だ



そんなワークエモーションの中でも特に正統派な薫りが漂うのが、このM8R。バランスの取れた8交点メッシュはしっかりとシェイプアップされていて、エッジもしっかりだから躍動感がバツグン。ただし基本造形がエレガントメッシュ系となるため、スパルタンにも振れるのはもちろん、アプローチ次第ではプレミアム系にも振れるのがポイントだ。例えばマッキナが製作したこのアバルト595とミニ。2台ともにKWのバージョン1車高調が装着されているのだが、フェンダークリアランスは両車とも指1本分を確保。スパルタンというよりはオシャレな方向性が好まれる車種だから、ベタ落としてはなく、街乗りも楽しめるマッチングで、という狙いか。それでもスポーツ度は的確に引き上げられているし、セミテーパーで立体感もしっかり。街の景色に、ハマリだ。

WORK EMOTION M8R For IMPORT [ワークエモーション・エムエイトアール フォー インポート]
カラー:ブラック 7.0J×17インチ ¥55,000 (税込) / 7.5J×18インチ ¥59,400 (税込)
PCD・HOLE 98/4 108/5 112/5

WORK EMOTION ZR10 For IMPORT [ワークエモーション・ズィーアールテン フォー インポート]
カラー:ブラックダイヤカドリム 7.0J×17インチ ¥58,300 (税込) / 7.5J×18インチ ¥62,700 (税込)
PCD・HOLE 98/4 108/5 112/5

指1本分のクリアランスでストリートスポーツ風味に
ワークエモーションはスポーツ路線が基本で、レースフィールドで培った技術をフィードバックするなど、本格的なスポーツ走行も視野に入れるブランドだ。ゆえにそのデザインも明確に、スポーティ。走りのテイストをプラスしたい、実際にサーキット走行も楽しみたい、といったときのチョイスとしてはまさにもってこいなブランドのひとつである。

WORK EMOTION M8R / ZR10 for IMPORT

スポーツからスタンスまであらゆる装いで存在感を発揮

ワークエモーションというブランドはそもそも、機能美=デザイン美と考える。優れた機能が備わるからこそ、それに裏付けられたデザインも映える、と。だから基本は、シンプル。それゆえ幅広い車種で違和感なく、スポーティに映える。

問●ワーク 西日本 TEL.06・6746・2859 中日本 TEL.052・777・4512

東日本 TEL.048・688・7555 www.work-wheels.co.jp

撮影協力●マッキナ TEL.072・446・3733 www.macchina-style.com

写真●福田浩章 文●酒井賢次

Macchina MINI

MATCHING
M8R 17×7.0・
47 5H-112



スポーツテイストが
あふれ出す足元に

↑ミニにも同じく17×7Jを装着。指1本分のフェンダークリアランスを確保して、スポーティだけど街乗りもこなせる、という仕様に。インセットは+47だが、持ち味のセミテーパー感をしっかり味わえるのもポイント。エネルギーだ



正統派メッシュの
上級感もその足元に

↑M8Rは17~18インチとサイズレンジが広く、コンパクトからクーペ、SUVまでの幅広い車種にマッチングできるのも魅力。マッキナではアバルト595に、KWのバージョン1を履かせて17×7Jを。スパルタンすぎない絶妙な車高で装着



Macchina ABARTH 595

MATCHING
M8R 17×7.0・
38 4H P.C.D98





EAST BMW 218i GranCoupe

問●イースト TEL.072-265-1184 www.east-244.com/
写真&文●芝 修

イーストでは国産／外車の車種を問うことなくユーザーの要望に応えるカスタマイズを展開しているが、その中でもっとも得意とするのが聴かせるオーディオチューン。このデモカーのBMW 218iはDSP+アンプに2インチワイドレンジツイーター／5インチミッドバズのスピーカーを違和感なく純正チツクにインストールして上質のサウンドを導き出している。そしてエクステリアは無駄なデコレイトを施すことなく若干ローダウンさせてエモーションM8Rで足元を引き締めた。これまでこのホイールをPCD112のBMWにセットするにはワークならではの特殊PCD対応が必要だったが、標準モデルとして追加されたのがBMW専用サイズ。グロスブラツクのスポーティな8交点メッシュでBMWの新たなカスタマイズスタイルを提案している。

足元を引き締める
グロスブラツクの8交点メッシュ



MATCHING WORK EMOTION M8R For IMPORT 18x7.5+47 5H-P.C.D112



フローフォーミング製法で強度を高めたインナーリム

→細いスポークがリムに繋がることで1サイズ上の大口径感をアピールするリムオーバーデザイン。インナーリムは圧力をかけながら伸ばして成形するフローフォーミング製法によって鍛造並みの強度を確保している



ERST VOLVO XC60

問●エラスト TEL.072-800-2288 www.erst.ne.jp/
写真●稲田浩章 文●酒井賢次



実用的なタイヤとの
マッチングも絶妙

→WORK EMOTION M8R For IMPORTに合わせたのはミシュランのオールシーズンタイヤ、クロスクライメート。60扁平というSUVらしい実用性に配慮したサイズだが、M8Rはスポークの量感が適度にあるから存在感で負けない。SUVらしい躍動感もダイレクトに伝える



SUVのアクティブさを
ダイレクトに引き上げる。

日本発のボルボ専門チューナーとして名を馳せるエラストは、オリジナルでエアロやホイールも手掛ける本格派。そんなエラストがとことんシンプルに仕立てたボルボXC60の足元で、ワークエモーションM8Rはしっかりと存在感を放ってくれる。SUVであるXC60はボディマスが決して小さくない車種なのだが、M8Rは多交点のメッシュデザインでスカスカ感がないため、そのボディの大きさにも遜色はなし。ミシュランのクロスクライメートという実用性に配慮したタイヤとのマッチングも相まって、アクティブでスポーティなSUVらしい雰囲気だ。フィニッシュされているのがポイントだ。ワークエモーションはレーシーな車種、スタイルに似合うかと思いがちだが、デザイン自体はオーソドックスにスタイリッシュだから、こうしたSUVとのマッチングも有効だ。

MATCHING WORK EMOTION M8R For IMPORT 18x7.5+47 5H-P.C.D108



C字とで構成される独自のアシンメトリカルツイステッドデザインによるもの。ストリートに伸びるスポークは隣り合うY字スポークとツインスポーク関係にあり、この基点部分が大きなU字。ヒネリが効いたY字スポークは交点部がV字で、まるでラフメッシュのような雰囲気が生み出されるのはこのスポークのおかげだ。そしてこの直線とY字の左側スポークとの股部が、C字。ここは二重のエッジラインで構成され、グノ一シスらしい強いエッジ感を奏でる。つまり、アメ鍛風のシャープなエッジ感に満ちた造形ながら、それらスポークの交点部分は実はやわらかなラインで構成されていて、だからこのメルセデスCLSのような流線型ボディに合わせても違和感が生まれない。精悍一辺倒ではないプレミウムな薫りが漂うのは、それが要因だ。

エッジが効いてヒネリも加わるから、精悍さや躍動感がバツグンなのは当然。でもそこに上品でやわらかなアール形状も合わさるから、上位車種に合わせても遜色のない上級感まで手に入れられる。個性はもちろん文句なし。足元で主張するのはこのCVX、またとない存在なのだ。2ピース構造だからミリ単位でのオーダーインセットが可能で、理想のマッチングを追求しやすいというのもアドバンテージ。標準カラーが全5色と豊富で、さらに特殊色などでのカラーカスタムも追加できるといった遊びやすさも満点なのも魅力的だ。ちなみにフェイスはミドルコンケイブ、ディープコンケイブの2種。力感、インパクトも折り紙付き。



1.2ピース構造だからインセットはオーダー可。リム深度も確保しやすい。ピラスポルトも高品位 2.ストリートとヒネったY字という独特の組み合わせ。躍動感が強く、メッシュ風なテイストも備わる 3.フェイスはダイナミックなコンケイブ形状。アメ鍛風のエッジ感も持ち味

↑オープンメッシュとツインスポーク、ディレクションのそれぞれの良さを融合。カラーバリエーションも豊富に用意される



グノ一シスCVXはオープンメッシュ風であり、けれどもツインスポーク形状で、さらにヒネリまでが加えられたコンケイブモデル。シンプルであるようでは実は複数の造形がフュージョンされた個性派で、だから例えばシンプルにまともな足元優先のメイクアップでは特に、その存在感とオリジナリティが際立つ一本だ。この独特なフェイス、実は大きなU字と小さなV字、二重で描かれた

オープンメッシュとヒネリとツインスポークとの融合体。

WORK GNOSIS CVX

× Macchina Mercedes-Benz CLA

アメ鍛風のビレット感と
シャープなヒネリで魅了せよ

グノ一シスというブランドは、アメ鍛風のビレット感やエッジ感を、鋳造製法のコストパフォーマンスを維持しながら、徹底追求するのが持ち味。中でも第3弾となるCVシリーズに連なるCVXは、躍動感がハンパない。

問●ワーク 西日本 TEL.06・6746・2859 中日本 TEL.052・777・4512 東日本 TEL.048・688・7555

www.work-wheels.co.jp

撮影協力●マッキナ TEL.072・446・3733 www.macchina-style.com

写真●芝修 文●酒井賢次

Macchina Mercedes-Benz CLA
× WORK GNOSIS CVX
8.5J×19インチ +43

